令和6年度 大田区立池雪小学校 自己評価 報告書

	手価及び学校関係	・者評価の結果の概要と改善策		J班; 隊(:			携した	教育活動 校内研究と授	東板	察を関	
大生きる力を育成します。 予測困難な未来社会を創造的に 個別目標1	カ州性 様を できない できない できない できない できない できない できない できない	加速内部 TITEAM教育等の放射等機能 新的化学Vや中心中学教育を推進 し、課題等と力や新たな簡単 を観音する力の育成を観っていた。 ②学校内外でのする智能でいた。 ②学校内外でのする智能でいた。 ②学校内外でのする智能でいた。 ②学校内外でのする智能でいた。 ③情報技術を連続して、代別の育成を図っている。 ③情報技術を連続して、代別の育成を図っている。 ④校内研究で生活料、社会料を中心に、問題解決的な容別 《校内研究で生活料、社会料を中心に、問題解決的な容別 《基本院の技術となる。	・	33 33 33	日間: 昨午44編 (日本) 日本 (日	4:05 以上 3:355以上 1:305 满	2	- 1 できない。 1 できない 1 でき	A B	3	学院の単位人類 「展覧を見かっしている」、展覧ものでした。 「展覧を見かっしている」、「展覧ものでした。 「展覧を見かっしている」、 「展覧を見かっした。」、「展覧を見かった。 「展覧を見かった。」、「展覧を見かった。 「展覧を見かった。」、「展覧を見かった。 「展覧を見かった。」、「展覧を見かった。 「展覧を見かった。」、「展覧を見かった。 「展覧を見かった。」、「展覧を見かった。 「展覧を見かった。」 「日本のできないます。」 「日本のできないまする。」 「日本のできないまないまする。」 「日本のできないまする。」 「日本のできないまするないまする。」 「日本のできないまするないまするないまないまままままままままままままままままままままま
おおたを担う人材を育成します個別目標 2	英雄二年 東海の大学 では、 東京の大学 では、 東京の	①外型接触有常能員の活用な だにより、実施「個れ親」が、 を発音でも発生でも、 表語のやコュニケーションを 表語のでコュニケーションを 有が企動されている。 数が個か単独との伝統や文 化の等部、人権教育を推進。 自身なは、 の課題との伝統や文 化の等が、 に関している。 ②現代社会における他発展の の課題と同びまる。 ③現代社会における他発展して の課題と同びまる。 ③現代社会における他発展して の課題と同びまる。 3の課題と同びまる。 3の課題と同びまる。 3の課題と同びまる。 3の課題と同びまる。 3の可能を認っている。	、「食品をしてきた」に関係した資産のの映画では、 4 かられてきた」に参加業の関係した。 5 かられ上しての映画が「おからしてきた」に関係し 2 かられ上していままが「おからしてきた」に関係し 2 かられ上してきた」に関係し、日本費のかられ来すで 4 からた。 5 かられ上のできた」に関係し、日本費のかられ来すで 5 からた。 5 かられ上のの未満が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの未満が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの本表が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの本表が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの本表が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの本表が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの本表が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のの本表が「おからしてきた」に関係し、 5 かられ上のかる本表が「おからしてきた」に関係し、 6 かられ上のかる本表が「おからしてきた」に関係し、 6 かられ上のかる本表が「おからしてきた」に関係し、 6 かられ上のかる本表が「おからしてきた」と関係し、 6 かられ上のかる本表が「おからしてきた」と関係し、 6 かられ上のかる本表が「おからしてきた」と関係し、	3	く児童を含まれている。8 ・活学を対している。9 ・活学を対している。9 ・活学を対している。9 ・ボールでは、10	4: 90% 以上 3: 85% 以上	2	「原細」 ○外国語ラー ● ・	В	3	・菓工大の留学生と交流など児童にとってした。は「特別では、 とても、は、「特別では、「特別では、 になっています。」というでは、 を、では、、英国専科のでは、一般では、 を、では、、英国専科のでは、大型では、 では、、英国・教育のでは、大型では、 は、「本面では、大型では、大型では、 は、「本面では、大型では、大型では、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 はまってより、とので、このようには、 は、 は、こので、こので、こので、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
ための基礎となる力を育成します一人ひとりが個性と能力を発揮する個別目標3	児豊を上る豊確健をす幼中としたいませんに終しい学なしたかから、別教をはたいなないはないません。かまましたがません。かままないないはないないません。	①連修科を中心とした各教科 等での学習などを追て「經典 等での学習などを追して報告 いる。 のでは、通知のでは、一般の でがある。 と学習書動後に応じた指導検 定の実施を過して、すべての との実施を過して、すべての との実施を過して、すべての はなな機を差遇して、健康等 はなな機を差別。 会社をは他の確立を図ってい ・ 名単和を報を行うため、後生かりの連形や中一貫の提出。 の連形や中一貫の提出。 5体カース・の精単でしている。 5体カーストの結果を はかりたったを はずれた機を手がある。 はずな特を手が上でいる。 5体カーストの結果を はずれたを はずれたを はずれたを はずれたりを はずれたりを はずれたりを はずれたり は はずれたり は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	4 (対象がたちできたいる業業員が関係した。 3 (他のは上年の機能を対象が対象ができた。) 4 (地域は上の機能を対象が対象ができた。) 5 (他のは上年の機能を対象ができた。) 5 (他のは上年の機能を対象ができた。) 5 (他のは上年の機能と必要が対象ができた。) 5 (他のは上年の機能と必要が対象ができた。) 5 (他のは上年の機能と必要が対象ができた。) 5 (他のは上年の機能と必要が対象ができた。) 5 (他のは上年の機能とができた。) 5 (他のは上年の機能とができた。) 5 (他のは上年の機能とができた。) 6 (他のは上年の機能とができた。) 6 (他のは上年の機能とがあるができた。) 6 (他のは上年の機能とがあるができた。) 6 (他のは上年の機能とがあるができた。) 6 (他のは上年の機能とがあるができた。) 6 (他のは上年の機能とがあるができた。) 6 (他のは上年の機能とがあるが、) 6 (他のは上年の機能と対象が、) 6 (他のは上年の機能と対象が、) 6 (他のは上年の機能と対象が、) 6 (他のは上年の機能と対象が、) 6 (他のは単純を対象が、)	3 3	〈児童> 習を 授定によば分分 かく 使数料 にことはよく分かく では数料 用温速を がは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	4: 90% 以上 3: 85% 以上	3	(取組) 対象性を対象性を対象性を対象性を対象性を対象性を対象性を対象性を対象性を対象性を	В	1	議員の原名が期足を発生でいたださ 機能の元素が物とで議員から指導 けないもことを想じた。 イ学電影にことがあるの音楽学的 はないもことを想じた。 イ学電影にことがあるの音楽学の ます、今後は様々な分野での実施した。 ます、今後は様々な分野での実施した。 はないますが、まず、ないとはますがらいたます。 インストンストンストンストンストンストンストンストンストンストンストンストンストン
学校力・教師力を向上させます個別目標4	校の実施力ま質育た関連を 特別通過のである。 特別通過のである。 特別通過のである。 特別通過のである。 特別通過である。 特別通過である。 ものでる。 ものでる。 ものでる。 ものでる。 もので。 ものでる。 ものでる。 ものでる。 もので。 もので。 もので。 ものでる。 もので。 もので。 もの	①児童・生徒一人レとりの可能性を引き出す個別最高な学 能性を引き出す個別最高な学 にも協動的なデルー体的な であっている。 ②教育員がデナイトの意門性 を生れたより、他の特色を生かれたり、工会 のであった。 ③教育員の要称音正化等に取ら り間か、別童・生徒に変長があたり、 一年のの関係と関係をある教徒を イネの回り接着数数。自己申 の回動において、自己評価 カードをとして管理機と協議 ・ 1000 であった。	1、「自然を行っている」とは関いている。 1 のいましたのである。 2 のいましたのである。 3 のいましたのである。 4 りまたのできたっとのである。 4 りまたのできたっとのできたっとのである。 4 りまたのできたっとのできたっとのできた。 4 りまたのできたっとのできたっとのできた。 4 りまたのできたっとのできたっとのできた。 4 りまたのできたっとのできたっとのできた。 4 りまたのできたっとのできたっとのできた。 4 りまたのできたっとのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの思えのできたっとの問も、 4 りまたのできたっとの思えのできたっとの思えのできた。 4 りまたのできたっとの思えのできた。 4 りまたのできたのできた。 4 りまたのできたのできた。 4 りまたのできたのできたのできた。 4 りまたのできたのできたのできた。 4 りまたのできたのできたのできた。 4 りまたのできたのできたのできた。 4 りまたのできたのできたのできたのできたのできたのできたのできたのできたのできたのでき	3	〈保護者> 子供の 学校はの学り上の なりました書き、 かすい行びいる。 35.99 全報を需議し、書き、 43回ではをもましては をはいる。 43回ではをしましては ははなっている。 100%	3:55以上 2:80%以上 1:80%滿	4	いて、「原知」では、	A B	2	・ できない。 他のにあります。 ・ から生きのつきが、一般が、一般が、一般である。 ・ から生きのできない。 ・ からいます。 生まっない。 ・ からいます。 生まっない。 ・ はいます。 生まっない。 ・ はいます。 といまない。 ・ はいます。 といまない。 ・ はいまない。 ・ はいない。 ・ はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな
ための学びを支援します 突然 (個別目標5	関東人次でをも始めます。 ・ は、このがは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	でいる。 「ハーシーを変数システム の構築に向けて、収費の資貨。 加力の用・シーを表現の対象を 加力の用・シーを表現の対象を 提出体的の力度、特別、実施を 提出体的の大変、特別、実施を についる。 ②学校い心が防止基本力針に 沿って、いりのの未然防止、かっ の場解を、京州が市のための 組織がカールン・レー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1「自然の生きない。日本の主要が必要ななから、 1 からはよりから来源が「おおももできた」と目的 2 からはよりから来源が「おおももできた」と目的 2 からはよりから来源が「おおももできた」と目的 2 からはよりから来源が「おおももできた」と目的 1 からはなりまたできた。と目が、と目ができた。 4 のからはよりから来源が国外であり、 1 のからはよりから来源が国外であり、 1 のからはよりから来源が国外であり、 1 のからはなりからまかが国外であり、 2 からはよりからまかが国かであり、 2 からはよりからまかが国かにありからまながあり、 2 からはよりからまかが国かにありからまながあり、 2 からはよりからまかが国かにありからまながあり、 2 からはよりからまかが「おかももできた」と目的 2 からはよりからまかが「おかももできた」と目的 2 からはよりからまかが「おかもなど」と目が最からない。 2 からはよりからまかが「おかもなど」と目がありまかない。 2 からはよりからまかが、日本のよりのできた。 2 からはよりからまかが、日本のよりのできた。 2 からはない。 2 からない。 2 からない。	3	く 決意 > 人、 大学 大学 中原く 全 1.96 会 1.96 会 人 投資 同 こ きか と か と か と か と か と か と か と か と か と か	4: 90% 以上 3: 85% 以上 1: 80% 来 3	3	(野場) 行導主任上北に の生活情報主任上北に 明 かたりのからは基本大針に 明 かたりのとの連携を見てきた。 の家庭女性センターンや選携 を切り、高級の関係をしてきた。 (28 素質の関係をしていませる。 (28 素質のの形をしては、 では、 のでは、	В	6	・豊下技術の子供の楽しそうな楽、学校に 倒った場合はおり時間に大変に返ぶ姿刻 明った場合はおり時間に大変に返ぶ姿刻 大学する、髪の形態に大変に返ぶ姿刻 大学なり、髪の光を 大学なり、変しからの変型 にいず校生態が迷られているかと思いる。 ・生力の影響の火薬と対象を最大した。 生生力の影響の火薬と対象を 生力の影響の火薬と対象を であるが、からまだから夢になっています。先生力 である状态が必要になっています。先生力 である状态が必要になっています。たま力 である状态が必要になっています。たま力 である状态が必要になっています。たま力 であるためを に対しているます。たまった。 では、 では、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で
心な教育環境をつくります教で創造的な学習空間と安全・別目標6	学行、理算情報とは、 学校にて教整されて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	1学校と地域の正統・特色 でありませます。 でありませます。 でありませます。 では、 のでは	4 「おおたなでやしょか者」の可能した。 3 Monikal 100mの表面があるできた。とは一般によっていまった。 4 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは一般によっていまった。 5 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは一般によっていまった。 5 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは同じ、 5 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは同じ、 5 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは同じ、 5 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは同じ、 6 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは同じ、 6 Monikal 100mの表面がおおけるできた。とは同じ、 6 Monikal 100mの表面がおけるといできた。とは同じ、 1 Monikal 100mの表面がおけるといできた。 1 Monikal 100mの表面がおけるといできた。 1 Monikal 100mの表面がおけるといできた。 1 Monikal 100mの表面がおけるといできた。 1 Monikal 100mの表面がおけることが表面がおけるといできた。 1 Monikal 100mの表面がおけることが表面がありまた。 1 Monikal 100mの表面がおけることが表面がありまた。 1 Monikal 100mの表面がおけることが表面がありまた。 1 Monikal 100mの表面がおけることが表面がありまた。 1 Monikal 100mの表面が表面が表面が表面が表面がありまた。 1 Monikal 100mの表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表	3	く児童のきません。 シきを守法した。 リ3教力が多り定欲した。 シのよう。 リ3教力が多りに乗がした。 大学学を扱いを表していました。 は乗がした。 大学学を表に表した。 大学学を表に表した。 大学学を表に表した。 大学学を表に表した。 大学学を表に表した。 大学学など、 大学など、 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な	4:05 以上 3:85%以上 1:80%满	4	(原相) かまり、 美典のびだ。 の修を行い、美典のびだ。 の修修を得い、美典のびだ。 の情報師によるいでは の情報師によるいでは ので発情等の管理を行った。 (空楽計画について に任されていた。そこす。 をしているとしている。 に任されていた。 で学習資本を学の実施 等を行う。	В	6	る。の音楽を開帯が発を観えており、ことからからあり、 からかがある。と、生まってないを持ち、 からからからの全なが一番の重楽は器 がるが、大きな問題なっていないという。 を選集したの文を指導がしついいない。 で選集日本学をからかるともが、まずの表情が の選集別縁がピンシとしていた。を告か できない。一本の交流は のではない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。一本の交流は できない。
学校をつくります。学校・家庭・地域の主は、一体のでは、家庭・地域の連携・協働による個別目標で	地テでは、大きない。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	①「地域コミューティの核として の学様とソリを目的して地域 大学を発展している。 活剤を実践している。 企業を使用している。 企業を使用している。 企業を持ち、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	4 月からしてきた」と参考表の回路に入 の中心上上の小本面が「おかしてきた」と語をした。 た。 のかい上上の小本面が「おかしてきた」と語をした。 1 月からかときたときたとなってきた。 1 月からかときたときたとなってきた。 4 日からかときたとからかを見かが終した。 2 のいい上との小本面が「おかしてきた」と語をし、 1 月からかとなってきた。 1 月からかとなってきた。 1 日からかとなってきた。 2 のいい上との小本面が「おかしてきた」と語をし、 1 月からかとなってきた。 2 のいい上との小本面が「おかしてきた」と語をし、 2 のいい上との小本面が「おかしてきた」と語をし、 2 のいい上といい。本面が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。未述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。来述が「おかしなっきた」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなっきた」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなっきた」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなっきた」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなっきた」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなっきた」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「おかしなった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「なった」と語をし、 2 のいい上といい。ま述が「なった」と思えない。 2 のいい上といい。ま述が「なった」と思えない。 2 のいいといい。ま述が「なった」と思えない。 2 のいいといいをし、 2 のいいといいといいをし、 2 のいいといいをし、 2 のいいといいといいをし、 2 のいいといいといいといいないないないないないないないないないないないないないない	3	く学地内教成用保テ等でで184条とは、	3: 85% 以上 2: 80% 以上	2	【歌劇』できっきな選挙 の地画ができる。 の地画ができる。 のというないできます。 のPFAのアピンにを入り、 のPFAのアピンにないできます。 のPFAのアピンにないたが、 (解文語) のアルのではまからないできないできない。 (解文語) のアルのではまからないできない。 のでは、	A B	3	・機能はその後は関切の方ので動は変していても関連した思います。これから にいても関連した思います。これから にいても関連した思います。これから ではたまえていませんに思っております。 ではたまえていませんに思っております。 ではたまえていませんに思っております。 ではたまえています。 ではたまるではない。 「おります」では、これではない。 「おります」ないではない。 「おります」ないではない。 「おります」ないではない。 「おります」ないでは、 「おります」ないでは、 「おります」ないでは、 「おります」ないでは、 「おります」ないでは、 「おります」ないでは、 「おります」ないまでは、 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「おりまする。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりまる。 「まりま